

※対応年式はソフトバージョンによって異なります

車名： プリウス	型式： ZVW5#	年式： H27.11～(R03.08)
----------	-----------	---------------------

※注意：作業に関する詳細や注意事項は、修理書を必ず確認する事。

お問合せありがとうございます。ブレーキフルード交換におけるDST-i操作手順をご案内いたします。

【注意】

- ・作業前、作業後は、故障コードが検出されていないことを確認すること（ALLダイアグ-全システムを推奨）
- ・DST-i 操作やブレーキペダル操作、ブリーダプラグ開閉、フルード量確認・補充を同時に行うため 2人以上で作業を行うこと
- ・ブレーキフルードがリザーバのMIN～MAXラインの間を保つよう補充をしながら作業を行うこと
- ・補機バッテリー電圧が低下している場合、正常に作業が行えない可能性があるため注意すること

1. ブレーキフルードをリザーバのMIN～MAXラインの間まで補充する。
2. DST-i を車両に接続し、DST-i の電源をONした後、車両をIG-ONにする。
シフトレバーはPポジション、パーキングブレーキは作用していることを確認する。
3. 下記手順でDST-i を操作する。
起動画面でAボタン ⇒ “スタンダードソフト”を選択しAボタン ⇒ “スタンダードソフト”を選択しAボタン
⇒ 該当する車両情報を全項目選択しAボタン ⇒ “ABS・VSC・TRC”を選択しAボタン
⇒ “作業サポート”を選択しAボタン ⇒ “エア抜きAHB-R関連作業” を選択しAボタン
⇒ 作業選択画面までAボタンで進める ⇒ “ブレーキラインエア抜き”を選択しAボタン
4. DST-i の画面に表示される手順に従いブレーキフルード取替を行う。
ブレーキペダルが元の位置に戻っていても、マスタシリンダ内ピストンが戻っていないおそれがあるため、
ブレーキペダルを踏み込み解放した後、次の踏み込みまでは1秒以上時間をあける。
5. 「ブレーキラインエア抜きが完了しました」とDST-iの画面に表示されたら、下記手順で作業メニューに戻る。
Aボタンで終了 ⇒ “終了”を選択しAボタン ⇒ Bボタンで作業メニューに戻る
6. 下記手順でDST-iを操作し、故障コードを消去する。
“故障コード”を選択しAボタン ⇒ “消去”を選択しAボタン ⇒ “OK”を選択しAボタン
⇒ 「故障コードを消去しました」と表示されたら“OK”を選択しAボタン
7. DST-i をOFF、IG-OFFにした後DST-i を車両から取り外す。

免責事項

DSTサポートセンターはDST-iを使用する上でのご相談に対し、一般的な対応のアドバイスを行うものであり、いかなる責任を有するものではありません。DST-iを使用する上で生じた直接および間接の損害についてはDSTサポートセンターおよびデンソーはその責任を負いません。

お客様の判断・責任の下で作業を実施くださいますようお願い致します。

DSTサポートセンター 担当：

TEL: 0120 - 907936 FAX: 052 - 559 - 6073

E-mail: support_dst@scantool.denso.info

サポートセンター運営時間

月～金 9:00～12:00、13:00～17:00

(祝祭日および弊社連休を除く)